PRESS RELEASE

尚絅学院大学 | Passion with Mission 熱い心、響かせる

リリース日：2026 年 11 月 12 日

「自宅でできる！学習支援研修会」を開催

読み書きにつまずきのある子どもへの家庭での支援方法を紹介

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

尚絅学院大学 総合人間科学研究機構 読み書き・子ども発達支援センターでは、2026 年 12 月 12 日（土）18 時から、「自宅でできる！学習支援研修会」をオンラインで開催します。

本センターでは、主に小学生を対象とした読み書きの評価に加え、読み書きのつまずきに応じたリモートでの学習支援に取り組んでいます。

今回の研修会では、学習につまずきのある子どもの特徴や、自宅で取り組むことのできる学習方法、12 月に発売開始予定の「漢字読みノート」を含めた支援教材について紹介します。家庭での宿題や学習をどのように支えていくか、実践につながる内容をお伝えします。

講師は、特別支援教育を専門とし、読み書きに困難のある子どもの認知評価や学習支援について研究・実践を行っている、本学講師の成田 まいが務めます。

＜開催概要＞

日時：2026 年 12 月 12 日（土）18:00～19:00
開催方法：オンライン（ZOOM）
テーマ：「自宅でできる！学習支援研修会」
内容：学習につまずきのある子どもとは／自宅で取り組める学習方法
講師：尚絅学院大学 講師 成田 まい　参加費：無料
主催：尚絅学院大学 総合人間科学研究機構 読み書き・子ども発達支援センター
共催：東北文化学園大学 総合発達研究センター附属 国見の杜クリニック
申込：添付チラシ記載の申込フォームからお申し込みください。

＜お問い合わせ先＞
尚絅学院大学 教育研究支援課
（大学広報室）清野 正恵
TEL：022-381-3501
Email：ksien@shokei.ac.jp

2026年度　研修会

自宅でできる！学習支援研修会



　読み書き・子ども発達支援センターでは、主に小学生を対象に、読み書きの評価を実施しています。さらに、読み書きのつまずきに応じたリモート学習支援を学生支援員とともに続けてきました。
　学習には順序性があり、読み書きの弱さにも要因があります。調査研究のなかで明らかになってきた情報を基に、本研修会では、自宅で取り組むことのできる支援方法や具体的な教材を複数紹介します。

＜内　　容＞

挨　拶　読み書き・子ども発達支援センター長
佐藤　功一

講　演
自宅でできる！宿題のチャレンジ方法
・学習につまずきのある子どもとは
・自宅で取り組める学習方法
尚絅学院大学　　成田　まい

挨　拶　国見の杜クリニック院長
小林　朋子

講師　尚絅学院大学　講師
成田　まい

日　時
2026年12月12日 土
18：00～19：00

会　場
オンライン開催（ZOOM）

受講料
無　料

参加申し込み
下記アドレスまたはQRコードより申込フォームに進み、申し込みください。
後日、ZOOMミーティングURL・ID・パスコードをお送りいたします。
https://forms.gle/i3CdgHFocuNvawsT6



■氏名　成田 まい（なりた まい）
■所属　尚絅学院大学（専門：特別支援教育）
■略歴　東京学芸大学（教育学研究科・発達障害専攻）修士課程修了。市立秋田総合病院、秋田大学医学部附属病院、秋田こどもの心と発達クリニックにて臨床発達心理士として勤務（現職）。2025度より尚絅学院大学講師。
■主な研究・活動対象
　通常学級における読解困難の認知評価とそれに基づく学習支援に関する研究。小児科におけるLD児の読み書き評価と療育効果についての研究。
■主な著書
『読み書きが苦手な子どもの「できた！」を増やす 家庭でできる読み書きサポートブック 小学校中高学年（3～6年生）』（編著 日本標準）
『読み書きが苦手な子どもの「できた！」を増やす 家庭でできる読み書きサポートブック 小学校低学年（1・2年生）』（編著 日本標準）
『イラストでわかる LD・学習困難の子の読み書きサポートガイド：22の事例と支援の実際』（共著 合同出版）
『アセスメントと短い説明文の読解支援プリント』（共著 学研）

【主　　催】 尚絅学院大学　総合人間科学研究機構　読み書き・子ども発達支援センター
【共　　催】 東北文化学園大学　総合発達研究センター附属　国見の杜クリニック
【お問合せ】尚絅学院大学教育研究支援課（担当 ：清野） Tel： 022-381-3501　　E-Mail： ksien@shokei.ac.jp